

KTK
NO.101

後援会費郵便振替口座
01070-7-32145
あらぐさ後援会

あらぐさ通信

編集 あらぐさ後援会
編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3
TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215

練習重ね全国大会



2018年9月21日(金)～22日(土)開催の『きょうされん第41回全国大会 in 京都』にあらぐさ福祉会は、和太鼓・劇・テーマソングの発表に向けて、他事業所の方と練習を重ねてきました。

和太鼓・劇・テーマソングの練習は別々に行われましたが、行く前から利用者の皆さんはやる気一杯でした。和太鼓では練習が始まる前に手作りの太鼓を作って練習をし、気持ちを盛り上げていきました。他事業所の方は、とてもフレンドリーですぐ輪の中に入ることが出来ました。

練習から帰ってくると、「太鼓してきたで～」「劇の練習でな～」と、嬉しそうに報告する姿がありました。

(関連記事4ページ、次号で全国大会詳細報告)

10月13日(土) みんなおいでよ～あらぐさひろば

友だちが好きだから

がんばってきました

勇治さんは42歳。向日市生まれで、お父さん、お母さんと2歳年上のお姉さんの4人家族の中で育ちました。ケアホームいろどりに入所しています。あらぐさでは、畑や染色の仕事をしています。その傍を人が走ってもじっと作業に集中して働いています。皆と一緒に身体を使っての活動も楽しんでいます。

おいたち

向日市の平井病院で誕生。2歳過ぎ、水疱瘡に罹り高熱が続き、1カ月入院しました。病後、これまで出ていた言葉が話せなくなり、歩行も困難になりました。聖ヨゼフ整肢園や向日が丘療育園に相談に行き、そこで「訓練をしたら歩けるようになる」と言われました。

それから、週2日ポニーの学校に通い訓練をしました。ポニーと並行して、3歳からは向日市立第三保育所にも通いました。

ポニーの仲間は、今も友だちです。

向日が丘での活動

就学の時は悩みましたが、向日が丘養護学校に入学し、そうグループで学習することになりました。山の活動や道具を使って木工や調理など様々な活動をしました。周りの友だちや先生のすることをよく見て同じようにしようと頑張っていました。食事、トイレ、着替えなどは少し手伝ってもらっていましたが、だいたい自分一人でした。学校時代はおとなしく、お母さんの言うことをよく聞いてくれ、手のかからない子どもでした。

まだ、ガイドヘルパー制度がない時で、休日を豊かに過ごさせようと工夫し、日曜日には、そうグル



「さくらんぼの家」でのさをり織り

ープの友だち親子とポンポン山や善峰寺など西山へよく出掛けました。お父さんも一緒にでした。

障害児学童『がんばクラブ』

そして、『さくらんぼの家』

向日が丘に入学してから障害児自主学童『がんばクラブ』を、親の手でつくりました。働いているお母さんの願いは切実で、重松さんや先輩のお母さんたちが応援してくれました。市議員や市長さんのところにも行きました。大変でしたが願いがかない、向陽小の一角にある埋蔵文化センターの建物内で、5人の仲間とスタートできました。居場所は転々となりましたが、指導員さんを頼んだり、Tシャツを売ってカンパを募ったり皆で力を合わせて運営をしま

した。親も当番に出て、善峰の山に登ったり、大原野神社近くの食堂まで『温泉卵ツアー』に出掛けたりもしました。

その『がんば』も活動を終え、昨年、支え合ってきた多くの仲間や指導員さんたちと共に35周年のパーティーが行われました。

高等部になってからは、寄宿舎生活を体験しました。初めて家から離れる生活になったので、心配で何度も寄宿舎へ電話をしました。担当の先生が「お母さん、大丈夫！」と言って励ましてくれました。

いよいよ卒業を迎え、進路のことが問題になりました。向日市福祉課の方ともいろいろ相談しました。向日市の友人が通っている『さくらんぼの家』(後、『あらぐさ』になる)に決めました。

家探しから始め、『さくらんぼの家』の近所のお宅にも挨拶に行きました。その後、次々に仲間が増えました。その頃の指導員の方が、今もあらぐさで支援してくれています。

『さくらんぼの家』では、さをり織りを上手にしていました。作品は、西山の芸術村のイベントで売れました。機会があれば、また、さをり織りの仕事ができればと思っています。

家や地域での暮らし

学校を卒業してから様々な音に対して過敏になり、いらいらして大きな声を出すようになりました。近くで家を壊すような音が続いたり、勇治さんの思いに反して無理やり出掛けたりするとパニックを起こしました。

相談した友人の勧めで心療内科の治療を受けました。それ以来、嫌な音がしてもパニックを起こすことはなくなりました。

生活面では、嫌なことやしたくないことは「ノンノン」と、しっかり言うようになりました。以前、お父さんの病院に行き、待合室で3時間程待っていたことがありました。その時は我慢していたのか、次に誘った時には「ノンノン」(二度と行かない)と言いました。仕方なく近くの方にサポートを頼みました。その時は勇治さんは自分の力で家の鍵を開け

てテレビを見て過ごしていました。

家では、相撲や野球をよく見ています。お母さんが「ゴルフを見せて」と頼むと譲ってくれていますが、勝手にチャンネルを変えると怒ります。

家族旅行が好きで、お姉さんも一緒によく出掛けました。ハワイに行った際の入国検査では、お姉さんが勇治さんのことを英語できちんと相手に説明してくれました。小さい時から仲が良く、勇治さんの力になってくれました。今は、孫連れで出掛けています。

ガイヘルは、内藤さんと気が合って一緒に出掛けています。カラオケに行き、隣のゲームセンターでゲームをして帰ってきます。レストランでは、から揚げセットや親子丼などを自分で選んで食べるのも好きです。ドレッシングは嫌でかけずに注文しています。



これからのこと

今のお母さんの趣味は、カラオケや『カーブス』での体づくりです。時に、長岡在住の同級生と食事に出掛けることもあります。

お父さんはケーキ職人です。保護者の催しで、お菓子を作ってくれる時もあります。

お父さんが入院した際、ケアホームに入っていることで安心でした。困っていることは、定期的な歯科検査通院などです。タクシー通院は、高額で負担が大きく改善したいです。



(取材：前田幸子 真殿尊子 森垣美知子)



きょうされん全国大会 京都で開催



20年ぶりに京都で全国大会が行われることとなり、2年前から準備をすすめてきました。オープニングセレモニーの太鼓、交流会での出し物、草木染体験ブースなどでは当日に向けて練習やシミュレーションを京都支部のたくさんのなかま達と積み重ねました。また、運営資金となる協賛金の呼びかけを続けてきました。

協賛金を募る取り組みは、あらぐさが乙訓に誕生して30数年、これまで数多くの支援をいただきながら広げてきた地域のみなさんとのつながりを再度確認できるとても良い機会になりました。

ご支援いただいたたくさんの方々の思いが一つになりました。ありがとうございます。

第41次国会請願署名へのご協力ありがとうございました

昨年11月から6月までの半年間、第41次国会請願署名・募金運動に取り組みました。あらぐさ後援会の皆様にもたくさんのご協力を頂きました。本当にありがとうございました。

あらぐさの取り組みでは、目標(4,400筆・85,000円)を大きく上回ることができました。国会請願は残念ながら「審査未了」=不採択に終わってしまいましたが、今後も誰もが安心して暮らせる社会をめざし、運動を続けていきたいと思えます。

〈取り組みのご報告〉	○全国	署名：954,907筆	募金：30,555,773円
	○あらぐさ	署名：4,685筆	募金：170,710円

活動紹介



販売促進部会議

カタログ販売



今年も冬カタログ販売の取り組み時期になりました。始めるにあたり、カタログ販売について紹介したいと思います。

カタログ販売では、地域との関わりと、デイセンター全体で取り組むことを大切にしています。

仕事の内容としては、検品、仕分け、配達、集金があります。

(次ページ続く)

ケアホームいろどり 職員

佐々木 絵梨子 さん

(ささき えりこ)



はじめまして、こんにちは。ケアホームいろどりでお世話になっています、佐々木絵梨子です。

私は障害福祉に少し興味を持ち始め、別の日中の事業所で働いていた頃、知り合いから長岡京市にケアホームができることを教えてもらい、このあらぐさのことを知りました。面接を受け、あらぐさについて説明を受けたり、開所前に事前に実習に行かせてもらったりするなかで、“楽しそう！”“ワクワクする！”という印象を受けました。それからいろどりが開所し、しばらくは掛け持ちで働いていたのですが、私的に別の事業所よりいろどりのほうが楽しく仕事ができると思いいろどりで常勤職員として働かせてもらうようになりました。

ただ、障害についても福祉についても何も知らない私は、やはり楽しいだけではいかず、しんどいなと思うことや辛くて心が折れそうになったこともたくさんありました。むしろそう思うことのほうが多かったです。でも今日までこうしているいろどりで働き

続けられているのは、他の職員さんの支えももちろんなのですが、そういう思いの時間以上にいろどりの皆さんと楽しく過ごした時間や嬉しい時間のほうが強かったのだらうなと思っています。

私は結婚するまでずっと向日市に住んでいて、学校も高校までずっと乙訓内の学校に通っていました。そして、小学校高学年からは長岡京市にあるつくしクラブに行っていたこともあり、乙訓で長く過ごしてきました。そんな地元のことを、私は子どもの頃から大好きでした。

この大好きな地元でこれからもできるだけ長く大好きな皆さんと、楽しい時やうれしい時、悲しい時も、いろんな時間を一緒に、一番近くで過ごせていけたらいいなと思っています。そして一緒にたくさん笑いあいたいなと思っています。

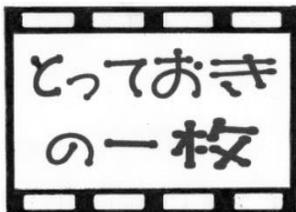
今後ともよろしくお願いたします。

検品、仕分けはデイセンター全体で行い、利用者同士の関わりも大切にする場になっています。配達、集金では、地域との関わりが多く、たくさんの方々知ってもらえる機会となっています。

また、取り組みの軸となっているのが、販売促進部のメンバーです。7月の販売促進部会議では製品紹介や、新聞作りを行いました。今回は、カタログの表紙作りをしています。このような取り組みから、カタログ販売に向けて意識を高めています。

今年の冬カタログにもたくさんのお新製品が登場するので、どうぞご期待ください。





畑作業

Cグループでは、一年を通して、畑作業を行っています。



畑作業では、買い物に行った先で、どんな野菜を作ろうかと苗や種を見て相談し、決めています。

野菜が決まったら、さあ、畝作り。肥料などを入れ、耕運機で土を混ぜ合わせます。耕運機が出てくると、目がきらり。楽しそうに耕運機を操作しています。畝が完成すると、買ってきた苗を植えます。今年の夏は、きゅうり・トマト・オクラ・ゴーヤ・なすを植えました。毎日、水やりをしながら、収穫までワクワクしながら待ちます。いざ、収穫！時々、味見をしながら出来をチェックします。

ジャーン！！

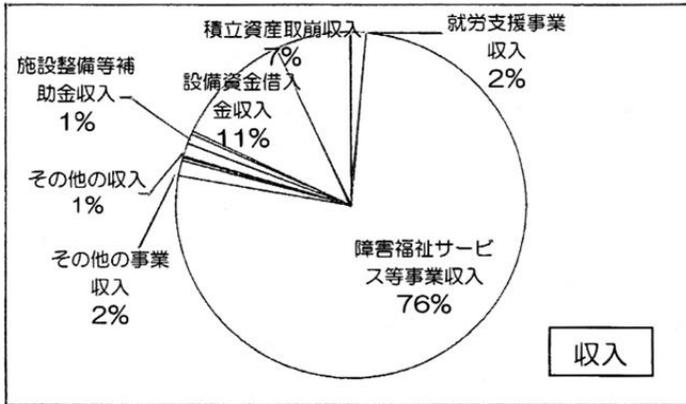
こんなにたくさん採れました！！

収穫後は、袋詰めをし、センター職員やいりどり職員向けに、できた野菜を自慢しながら販売を行いました。

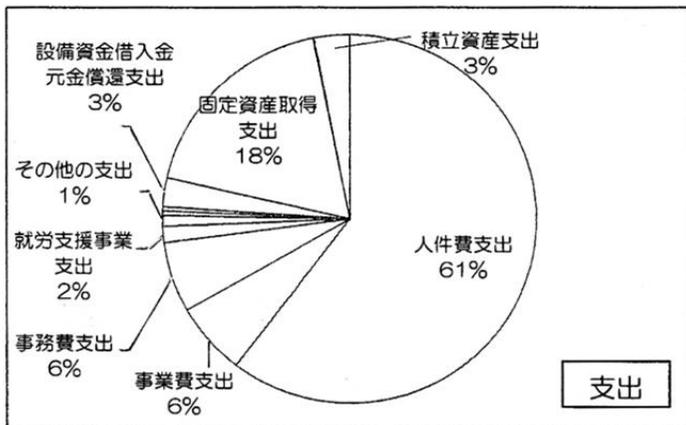
今後も、野菜を育てる楽しみや、いろいろな人との関わりを通して、充実した生活につながるよう支援していきたいと思ひます。

社会福祉法人あらぐさ福祉会 報告

平成29年度 社会福祉法人あらぐさ福祉会 財務状況



(収入)
 障害福祉サービス収入
 …障害福祉サービスに対する
 国、地方公共団体からの介護給
 付費



(支出)
 人件費支出
 …常勤職員 50人 非常勤職員
 80人
 事業費
 …主に利用者の活動に関わる
 支出
 事務費
 …運営事務に要する支出
 借入金元金償還支出
 …建物・土地の借入金返済

(平成29年度の特徴)

今年度の決算は総収入が5億307万円、総支出が4億9634万円で、当期繰越金が672万円となりました。決算規模が5億円となったのは、新館建築事業に伴う借入金があったためです。

事業活動収入で見ると前年度と同額程度(3億8400万円)でしたが、障害福祉サービス等事業収入が若干増額しました。これは処遇改善加算の増額によるものです。

支出の部では、新館建築事業に8440万円、加えて新館の天井走行リフト、ケアホームがざぐるまのスプリンクラー設置と固定資産取得に伴う支出が大きくなりました。

今後において法人の健全な運営を確保するためには、福祉医療機構への借入金返済などを踏まえ、経営分析や課題の整理を進めていく必要があります。

財務諸表についてはあらぐさホームページに公開しています。

<http://www.aragusa-fukushi.jp/>



あらぐさ後援会 加入・募金 ありがとうございます

平成30年4月1日～8月15日 敬称略・順不同

秋山喜美江 浅田光代 浅野晃生 芦田幸子 厚地芳美
 網谷億子 阿波谷陽子 粟野亜希子 井古テル子 石田
 秀子 石堂宏宜 石原洋子 一谷孝 一箭浩志 伊藤
 五郎 稲葉薫 井上敏子 今井和子 今井三郎 今井正
 今井千代子 医療法人社団くぼた医院 岩崎泰子 岩崎
 英雄 上田義博 株式会社魚国総本社 大江潤 大釜
 和子 大木雄大 大槻昭 大槻さつき 大槻裕治 大橋
 生人 大橋祐子 大林雅子 岡本沢子 小川直 小川
 貴士 小川真寿美 奥田保 奥山禎二郎 小谷勝利
 乙訓医療生活協同組合 乙訓教職員組合 乙訓地区労働
 組合協議会 乙訓手をつなく親の会 垣内望美 片山
 雅代 勝良和子 桂誠司 桂典子 金森たえ子 金子
 美智子 金原医院金達龍 神田千秋 北村民子 木村
 栄美子 木村忠 木村嘉男 共和運送株式会社 久保
 節子 鞍貫聡史 倉橋克之 粉川晴美 近藤健二 斉田
 昭子 崔本鐘光 坂下三良 坂下佳子 桜田吉昭
 佐々木康二 佐野顯治 猿橋正子 澤月子 塩尻光明
 篠原茂 篠原秀子 島津絢子 清水大輔 下尾医院下尾
 和敏 庄田馨 白石直子 鈴木純子 鈴木千賀子 角
 誠一 角撰子 住田珠江 住田初恵 瀬川光子 関節子
 節田もと 専修院福本哲了 宋彦一 田上玲子 鷹野
 安子 高橋光子 竹澤哲夫 竹下誠 武永健二 田中
 栄治 田中正恭 田主祥子 俵福造 長誠一郎 長
 理恵子 塚上公治 辻本勝浩 辻本恭子 津田拓也
 津田みさ子 寺家義人 天照教 都出とし子 時田麻里
 内藤秀春 内藤敬子 内藤基雄 中川耕二 中川美智子
 永崎みさと 永崎靖彦 中路克介 司法書士中西正人

中野円 中野史子 中野司 中村マサ卫 中山恵美子
 中山光雄 夏川久子 夏原典子 西幹男 西井美千代
 西田政子 西田良平 西村宗昭 西山俊太郎 長谷川
 朋子 長谷川長昭 波多由紀子 畠中清子 畠中勇治
 八田萬喜雄 濱川君代 濱田真里子 濱中信彦 早川
 美智子 原木とし子 春田石油有限会社 ぱんだ企画
 平井多津子 平田喜洋 平野みどり 平山功 廣岡
 富美子 廣瀬彩子 福井悦子 福祉保育労あらぐさ分会
 福島ケイ 福元晴茂 福山八千代 藤井則男 藤松素子
 藤原啓子 細井創 細井雅代 細井のぞみ 細川幸子
 堀江幸男 本多三郎 前田幸子 前田真之介 前田知臣
 前田仁 増田弘子 増田康夫 増田靖子 松井幸子
 松浦佳織 松岡稔 岩倉美希 松田恵美子 松村昭子
 松村美代子 松山雅子 丸岡敏夫 丸岡正子 丸岡勇毅
 三浦朱葉 水口秋子 水野美根子 三野真里奈 三橋
 眞子 南弘一 南やすこ 峰島厚 三宅州人 三宅善昭
 宮崎俊一 宮嶋節代 宮田啓子 三柳美里 宮本史朗
 宮本靖子 村井悦予 村井浩 村上宏 村上久代 村田
 清子 村野英介 村山容祥 森垣美知子 森上郷 森川
 浩世 森下純平 森本達也 守屋伸江 八木幸一 安井
 洌 安井芳幸 (有)ヤスイカメラ 安田耕治 安田隆
 安武梢 安武真理 安松美佐子 藪見富喜男 山口隆史
 山崎諭 山下敏夫 山下紀子 山田央 山田孝子 山田
 陽子 山中章二 山根信子 山本史子 (株)ユニバーサ
 ルホームサービス 横川和男 横川喜美江 横山和子
 吉川泰史 吉田治子 療術院うえの上野徳太 渡邊美幸
 匿名31名

後援会会員の更新がまだお済みでない方は、同封の振込用紙にてよろしくお願ひします

1992年6月5日 第3種郵便物承認(毎月1回25日発行) 2018年9月28日発行
 KTK増刊通信巻第4785号 発行所 京都障害者団体定期発行物協会
 〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル中之町519 京都社会福祉会館4階
 京都障働病院内 発行人 高谷修 頒価50円(購読料は会費に含まれています)

KTK
 あらぐさ通信